

2023

令和5年12月7日

第50号

(通算96号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 AIで童話作成に挑戦

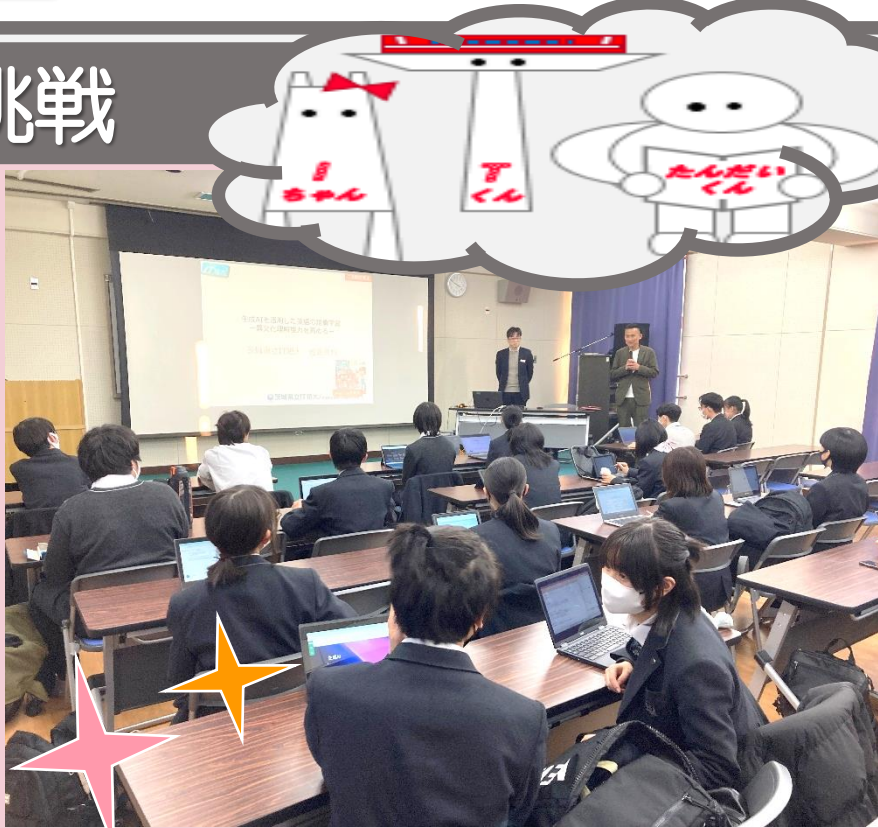
11月29日(水)、県立筑波高校で、企業でAIの研究に携わっていた本校の佐藤秀昭先生が講師となり、高校1、2年生を対象に『生成AIを活用した英語の語彙学習』が実施されました。

授業では、生成AIが利用者の入力に応じてテキストや画像など様々なコンテンツが生成できると紹介され、生成された映像に生徒たちは見入っていました。

体験では、生成AIを英語の家庭教師に見立て、英文の誤りを見つけるクイズに取り組みました。生成AIは、誤ったことを答える場面もあり、そのまま信じることはできないことも確認していました。

日本の童話を外国人に伝える体験では、伝えたい物語を、生成AIに要約させ、8ページ程度の絵にするよう指示していました。高校生は、瞬時に出力された様々な絵や英文を読み、楽しそうに内容を確認していました。

宮本(1年生)さんは「生成AIで、色々できることが分かりました」中澤(2年生)さんは「とても楽しい授業でした。また、利用上の注意点も良く分かりました」と話していました。担当の佐藤教諭は「生徒は楽しく体験し、生成AIはもとより、創作活動や英語の学習などさまざまなことに興味が広がった」と話されていました。



↑ 授業の様子



↑ 童話の作成について説明する佐藤先生



↑ 作成した童話を説明する高校生

2 高校の探究学習を支援



↑ 製作した高校生と指導された先生方

12月5日(火)、県立水戸工業高校と県立つくばサイエンス高校の1年生が製作した「社会の安全・安心への提言」ボードの製作報告会が実施されました。

これはG7茨城水戸に合わせ、新聞を活用し探究学習した成果をまとめたもので本校で支援したものです。

この中の8点が、今月13~27日の間、水戸市民会館に展示されます。

この中の8点が、今月13~27日の間、水戸市民会館に展示されます。

3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 日本経済新聞(2023年12月13日)

生成AI、まずは活用を

KPMGジャパン共同チェアマン 山田裕行氏

◇要約

●飯村寧音さん(水城高卒)

AI利用の日常化が見えてきたら、どの部分まで生成AIを使うか、どの部分から人間が自らの思考で解を作っていくのかを考えるべきだ。

不正という社会課題に対しては団結して対処するのが理想だ。

◇感想

●小野優羽さん(鹿島高卒)

私は、AIの仕事と人間の仕事は、しっかり分けるべきと考える。その上で、両方の強みを活かして上手く付き合っていけば会社や団体に大きな利益を生み出すと思う。

今後は、AIの勉強は更に加速していくと思う。

●皆川流星さん(勝田工高卒)

この記事を読み、最初は人間の思考がダメになると考えたが、使いこなす前に決めるのは良くないと書かれていました。

何事も利用する前に決めつけるより、使いこなしてから考えるべきだと思いました。

●山田真生さん(勝田高卒)

私も生成AIであるチャットGPTを日常的に使っており、とても役に立っていると感じる。無限の可能性が生成AIにあると思う。

しかし、倫理観を持つ私たち人間は、日々ブレーキをかけてより良いものにしていくべきと考える。

●菊池琉雅さん(勝田工高卒)

自分が生成AIを使うことは多いが、個人としてだけでなく、経営に関わる分野に使用するという発想はなかった。今後、生成AI

を様々な分野に特化させて活用させていけるようにしていくべきだと思った。

